

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	834	1,241	百日咳	2	0
RSウイルス感染症	11	9	ヘルパンギーナ	17	10
咽頭結膜熱	21	19	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	17	3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	71	89	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	670	708	流行性角結膜炎(はやり目)	18	22
水痘	41	40	細菌性髄膜炎	0	0
手足口病	59	53	無菌性髄膜炎	0	1
伝染性紅斑(りんご病)	3	3	マイコプラズマ肺炎	2	0
突発性発しん	41	34	クラミジア肺炎	0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	8	7

報告が多い感染症

- インフルエンザ
- 感染性胃腸炎
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

大きな流行が発生又は継続しつつある地域

咽頭結膜熱 : 菊池
 感染性胃腸炎 : 山鹿、菊池、有明
 手足口病 : 八代
 インフルエンザ : 山鹿、菊池、八代、人吉、有明、宇城、天草

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
熊本市保健所	180	1	3	30	133	7	24	2	13		2	1		18						8
山鹿保健所	57				54	11			1		1		*	*						
菊池保健所	102	1	5	21	137	3	10		8	2	6									
阿蘇保健所	21				4								*	*						
御船保健所	38			1	3								*	*						
八代保健所	87	2	2	3	47	4	15		4			16								
水俣保健所	28				26		2						*	*						
人吉保健所	68	7		3	20	1			4				*	*						
有明保健所	85		1	5	146	6	1	1	4										1	
宇城保健所	83		5	8	79	5	6		3				*	*						
天草保健所	85		5		21	4	1		4		8								1	
計	834	11	21	71	670	41	59	3	41	2	17	17		18					2	8

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	834	1	12	50	41	46	31	46	63	33	51	27	104	25	34	95	63	47	41	17	7	
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	11	2	2	3	3			1														
咽頭結膜熱	21			8	5	2	1	3	1					1								
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	71			2	5	12	4	15	11	4	9	1	7		1							
感染性胃腸炎	670	5	42	102	84	51	72	61	54	39	26	31	61	5	37							
水痘	41		3	6	9	9	10	3	1													
手足口病	59		1	16	17	16	4	2	2	1												
伝染性紅斑	3			1			2															
突発性発しん	41		18	23																		
百日咳	2												2									
ヘルパンギーナ	17		3	5	3	2	1	1	1													
流行性耳下腺炎	17			2	2	2	1	2	3	1	1		3									
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	18												2			6	5	3	1			1
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	0																					
マイコプラズマ肺炎	2		1																1			
クラミジア肺炎	0																					
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	8	3	5																			

感染性胃腸炎に注意しましょう



感染性胃腸炎

今週の感染性胃腸炎の報告数は670件と、先週とくらべて38件減少していますが、例年にくらべて減少するペースが遅く、ピークは過ぎているものの引き続き注意が必要です。地域別に見ると、山鹿、菊池、有明が警報レベルを継続中です。例年、3月から5月にかけて乳幼児を中心に胃腸炎の流行が起こり、この中にロタウイルスによる胃腸炎が多く含まれています。

ロタウイルスは感染力が強く、ごくわずかなウイルスが体内に入っただけで感染してしまいます。ロタウイルスに感染すると、2~4日の潜伏期の後、水のような下痢、吐き気、嘔吐、発熱、腹痛が出現します。脱水症状がひどくなると点滴が必要となったり、入院が必要になることがあります。また、けいれん、肝機能異常、急性腎不全や脳症など重篤な合併症がおこる場合もあります。治療方法として、ロタウイルスに効果のある抗ウイルス剤はなく、点滴などの対処療法のみです。

感染を広げないようにするには、オムツの適切な処理、手洗いの徹底などが必要です。オムツを交換するときには使い捨てのゴム手袋などを使い、捨てる場合はポリ袋などに入れ、手洗いはせっけんで30秒以上もみ洗いする必要があります。また予防方法の1つにワクチンがあります。現在、ロタウイルスのワクチンは任意で接種を受けることができ、乳児が対象となっています。詳細については、お近くの医療機関でご相談ください。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供: 熊本県健康福祉部 健康危機管理課